

※ 今週のアウトルック(6/6~6/10)

先週は、各通貨ペアとも概ね円安が進みました。  
各国、インフレ抑制のための利上げ継続観測が強まっているためです。

週末には、米国雇用統計の非農業部門雇用者数が予想を上回り、  
このところの最高値付近で週末を迎えた通貨ペアが多くありました。

今週は、この流れを継続できるかどうか注目されますが、  
利上げ継続を阻むような大きなニュースがない限り、  
週初めから高値を更新する可能性がやや強いように思います。

先週のドル円は、週初めから円安の流れとなりました。  
週末の良好な米国雇用統計の結果を受けて、このところの最高値付近まで上昇し、  
そのまま週末を迎えています。

今週は、利上げ継続観測からの米国債利回りの上昇を受けて、円安がさらに進む可能性が  
強くなってきています。

週初めにこのところの最高値をブレイクした場合には、135円付近まで上昇する可能性も  
考慮する必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは128円から135円です。

先週のユーロ円は、円安の流れに乗り140円を超えてそのままNY市場を終了しています。  
ユーロドルは1.075付近のレジスタンスに阻まれてやや停滞状態です。

今週のユーロ円は、このまま円安の流れに乗り145円付近までの上昇も考えて良さそうです。  
ただ、ウクライナ情勢の大きな変化には注意が必要です。

ユーロ円の予想レンジは137円から145円です。

ポンド円も円安の流れに乗り165円付近まで上昇していますが、  
ポンドドルの弱含みが続いているため、165円を突破するにはやや時間がかかるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは157円から167円です。

NYダウは米国雇用統計の結果を受けて、下落して終了しています。  
債券価格の上昇により、株から債券へのシフトがもう一段進むのか、  
週初めの動きに注目が集まりそうです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。